

競争的資金制度改革プロジェクトについて

平成14年3月28日

1．設置趣旨

競争的資金については、その効果を最大限に発揮させるよう、すなわち、研究者や大学等の研究機関にとって競争的研究開発環境の形成に資するよう、同資金の制度改革が必要である。

このため、科学技術システム改革専門調査会の下に、競争的資金制度改革プロジェクトを設け、集中的に調査・検討を行う。

2．検討スケジュール

4月に第1回のプロジェクトを立ち上げ、その後、6月中に中間とりまとめを行うことを目途に、今後、集中的に開催予定。

競争的資金に関する検討課題について

第2期科学技術基本計画においては、期間中に競争的資金の倍増を目指すこととしているが、これに併せ、制度の運用面や制度の在り方について踏み込んだ改革が不可欠であり、競争原理により個人の能力が最大限に発揮されるシステムを構築し、競争的資金の効果を最大限に発揮できるよう、例えば、以下のような課題について、調査・検討を行う。

1. 競争的な研究開発環境を実現するための制度的枠組みの検討

米国等の競争的資金制度を踏まえ、大学改革を視野に入れつつ、我が国の競争的資金制度改革の具体的な検討

直接研究経費の在り方（人件費への充当等研究経費のカバーする範囲等）

研究実施に伴う研究機関の管理等に必要な経費（間接経費）の拡充による大学等の外部資金導入へのインセンティブ向上

基盤的経費（大学等において学生数や研究者数を基礎として配分される経費）の在り方

2 . 競争的資金制度の運用改善

優れた研究を切れ目なく継続・発展できるよう、中間・事後評価の結果を次の研究課題の採択に反映させる体制を構築

若手向研究資金の拡充等による若手研究者の自立

研究テーマに応じた研究費規模の適正化（少額研究資金の改善）

3 . 公正な評価システムの採用

公正な評価・審査体制を構築し、研究費配分の透明性を向上

競争的資金を供給する特殊法人におけるプログラムマネージャーの設置等、恒常的・一元的プロジェクト管理体制の構築

高い資質を有した専門家によるピア・レビューの実施

4 . 総合科学技術会議が行う、競争的資金制度に係る各府省要求分の全体調整の具体的枠組みの検討

等

競争的資金制度改革プロジェクト名簿

井村 裕夫	総合科学技術会議議員
黒田 玲子	同
桑原 洋	同

(専門委員)

青木 昌彦	スタンフォード大学教授
安西祐一郎	慶應義塾塾長
石坂 公成	ラホイヤアレルギー免疫研究所名誉所長
江崎玲於奈	芝浦工業大学学長
大石 道夫	財団法人かずさDNA研究所長
沖村 憲樹	科学技術振興事業団理事長
小野田 武	三菱化学株式会社顧問
加藤郁之進	宝酒造株式会社代表取締役副社長
岸本 忠三	大阪大学学長
黒川 清	東海大学医学部長
佐藤 禎一	日本学術振興会理事長
豊島久真男	財団法人住友病院院長
牧野 力	新エネルギー・産業技術総合開発機構理事長